

があった場合も含まれている)

引用文献

- 1) 佐々倉航三, 望月誠, 1957: 静岡市から見た富士山の顕明度に就いて, 静岡大学教育学部研究報告 8, 167~172.
- 2) 佐々倉航三, 1959: 静岡市から見た富士山の顕明度と南偏風との関係について, 地学しづはた

18, 1~2.

- 3) 佐々倉航三, 1961: 静岡市から見た富士山の顕明度と気候要素との関係に就いて, 辻村太郎先生古稀記念地理学論文集, 339~342.
- 4) 佐々倉航三, 1957: 静岡県の冬の気候について, 日本気象学会創立75周年記念論文集和文集, 118~120.

理事会だより

第3回常任理事会議事録

日時 昭和39年8月3日(月) 17.00~21.30

場所 気象庁第3会議室

出席者 正野, 桜庭, 今井, 大田, 神山, 増田, 荒井, 小平, 吉野, 須田, 岸保, 畠山, 北岡, 各理事
(順序不同)

決議

1. 本年秋の訪中学術代表団の派遣について
関西支部からの要望もあるが今年は少し困難だと思われるので見送ることにし, 理事長より関西支部へ返書を出す.
2. 北京シンポジウムの派遣費用について
寄付金の集まり状態を検討し, 予備金より5万円を支出する.
3. 秋季総会について
 - イ. シンポジウムの原案(西部支部提案)に山田三朗氏の「レーダーの天気予報への応用」を追加してもらう.
 - ロ. 11月18日夜福岡で全国理事会を開く.
 - ハ. 九州地方の人達の研究を活発にするため学会への出席について配慮方を福岡管区台長に依頼する.
4. ソビエット気象学者の講演会を気象庁と共催で8月24日午後引き引きつき会費500円程度のレセプションを持つ.
5. 国際雲物理会議実行委員会より予備金の支出についての要請があつたが, 全体予算が決まる前は貸与する.
6. 長期計画に関する原案を理事, 地方理事, 支部長, 評議員に送付し修正意見を参考にして, 次回理事会で決定し天気9月号に載せる.
7. 編集費委員会費の増額について

各担当理事より値上げを要するものを今週中に会計理事に提出し理事長, 会計, 庶務理事で検討する.